

大久保北部市有地等 自然環境調査結果 概要

【調査目的】

本調査は、大久保北部市有地及びその周辺における様々な環境に生息・生育する動植物を調査し、現況を把握することで、大久保北部市有地の利活用について検討するための基礎資料を得ることを目的に実施した。

【調査結果まとめ】

調査範囲内では動植物が広く確認され、特に溜め池等の水域周辺に重要種を含む多くの生物が生息・生育していることを確認した。全項目での確認種合計は1,160種で、そのうち重要種は63種、外来種は45種であった。

【調査日】

2021年（令和3年）11月～2022年（令和4年）10月 右図相関植生図参照（黄色の枠線部分 約40ha）

【調査範囲】

【選定基準】

重要種：①文化財保護法、②種の保存法、③環境省レッドリスト、④兵庫県版レッドリスト・レッドデータブック、⑤明石市の大切にしたいもの～明石市レッドリスト～

外来種：①特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律、②生態系被害防止外来種リスト

【調査結果概要】

| 項目 | 確認種 | 重要種 | 外来種 |
|---|-------------------------------|-----|----------------------------|
| 植物相 (任意踏査) | ワラビ、ススキ、ホトケノザ、セリなどの406種 | 15種 | セイタカアワダチソウ、オオカワヂシャなどの36種 |
| 哺乳類 (任意踏査・自動撮影カメラ) | イタチ属、ニホンイノシシなどの10種 | 2種 | ヌートリア、アライグマ、ハクビシン、ノネコの4種 |
| 両生類・爬虫類 (任意踏査) (カニカゴトラップ) | ヌマガエル、ニホンマムシなどの12種 | 4種 | ウシガエル、ミシシippアカミミガメ、クサガメの3種 |
| 鳥類 (任意踏査) | カルガモ、アオサギ、シジュウカラなどの53種 | 15種 | 確認なし |
| 陸上昆虫類 (任意踏査) (ライトトラップ) (ベイトトラップ) | シオカラトンボ、トノサマバッタ、オオカマキリなどの584種 | 12種 | 確認なし |
| 魚類 (タモ網や投網等) | フナ属、トウヨシノボリ類の5種 | 3種 | 確認なし |
| 底生動物 (タモ網) | ヒメタニシ、サカマキガイ、エラミミズ、スジエビなどの90種 | 12種 | フロリダマミズヨコエビ、アメリカザリガニの2種 |
| 項目 | 概要 | | |

群落組成
(定点調査)

調査範囲で代表的な群落で調査を行った。確認種数が多かったのは、ハンノキ群落、アベマキ-コナラ群落、エノキ-ムクノキ群落であった。竹林には下層植生がほとんどなかった。

| 項目 | 概要 |
|-----------------|--|
| 相観植生 (空中写真他) | 調査範囲の植生は15群落、土地利用等は12種類に区分された。市有地にはアベマキ-コナラ群落、竹林、ヌルデ-アカメガシワ群落が広く分布していた。湿性地に見られるハンノキ群落やヨシ群落（湿性草地）が特徴的な群落としてあげられる。 |

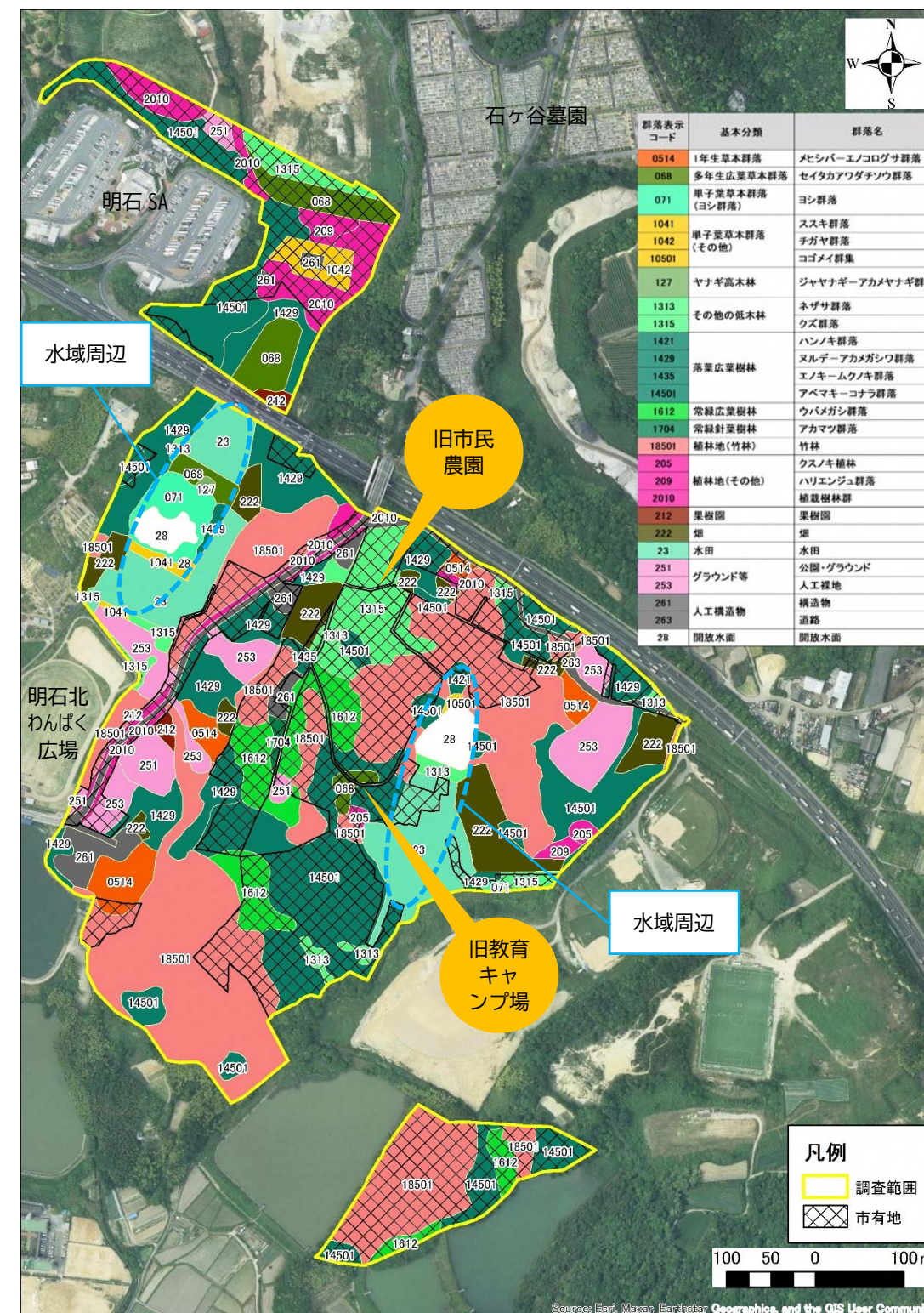


図 相観植生図